

品種	月旬	5			6			7			8			9			10		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
キヌヒカリ	作業	播種	元肥	代かき	田植え	除草剤	追肥	中し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
	内容	土壌改良剤(リン酸)施用 130g			坪60株 2/3本植		茎数の確保 16~18本で開始	飽水管理	いもち病に注意	出穂20日前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前
	水管理		代かき	湛水			飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)												
	登熟期																		

品種	月旬	5			6			7			8			9			10		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
ヒノヒカリ	作業	播種	元肥	代かき	田植え	除草剤	追肥	中し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
	内容	土壌改良剤(リン酸)施用 130g			坪60株 2/3本植		茎数の確保 16~18本で開始	飽水管理	いもち病に注意	出穂20日前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前
	水管理		代かき	湛水			飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)												
	登熟期																		

品種	月旬	5			6			7			8			9			10		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
山田錦	作業	播種	元肥	代かき	田植え	除草剤	追肥	中し	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥	穂肥
	内容	土壌改良剤(リン酸)施用 130g			坪50株 2/3本植		茎数の確保 16~18本で開始	飽水管理	いもち病に注意	出穂20日前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前	出穂前
	水管理		代かき	湛水			飽水管理(土が湿っていて足跡には水がたまる程度)												
	登熟期																		

病害虫

葉いもち病
穂いもち病
紋枯病
カメムシによる着色粒
坪枯れ

水田雑草

ホタルイ
クログワイ
キシュウズメノヒ
クサネム

使用時期	病害虫名	使用薬剤名	使用量
田植3日前 田植当日	いもち病 ニメズゾウムシ コブノメイガ ウンカ類 イネネットムシ	Dr.オリゼプリンス 粒剤10	1箱当り 50g
田植3日前 田植当日	いもち病 ニメズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ	デジタル コラトップアクタラ 箱粒剤	1箱当り 50g

除草剤

草の多い田(2回)散布
草の少ない田(1回)散布
(単位:10a当り)

使用薬剤名	使用量(10a)	使用時期
サキドリEW(液剤) + トップガンGT1キロ粒剤51	500ml + 1kg	代かき 4日前 田植え0 7日 10日 12日 14日 散布適期: 4日以上前 トップガンGT1キロ粒剤51
トップガンGT1キロ粒剤51 又は トップガンLフロアブル 又は トップガンLジャンボ	1kg 又は 500ml 又は 1パック(250g)	代かき 田植え0 5~10日 散布適期

●代かき後に使用する場合
●田植後に使用する場合

除草剤の効果的な使用方法

- ① くれ返しはできるだけ深く、2回以上行って下さい。
- ② 畦畔からの水漏れを防止して下さい。
- ③ 代かきができるだけ水を少なくし、トラクターのロータリー回転を落とし、田面が均平になるよう行って下さい。

④ 除草剤散布後3~4日間は水深3~5cmの湛水状態を保ち降雨があっても落水、かけ流しはしないで下さい。

⑤ ホタルイ等の雑草が多い場合は、サキドリEW+トップガンの体系処理がより効果的です。

⑥ フロアブル・ジャンボ剤の使用については、特に田面の均平を高め、水を保つよう心がけます。

※また、アオミドロ等の多発田では、充分な除草効果を発揮しませんのでご注意ください。

※サキドリEWを田植え後、散布する場合は、高温条件下では効果が低下しますのでご注意ください。

使用時期	病害虫名	基幹防除剤	臨機防除剤	使用量
出穂20日前	紋枯病 コブノメイガ イネネットムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類 ニカメイチュウ		バダンパッサバダ粉剤DL	4kg
出穂直前 (収穫14日前まで)	いもち病・紋枯病 ツマグロヨコバイ コブノメイガ、カメムシ類 イネネットムシ、ウンカ類	ラテラワイド 粉剤DL		4kg
出穂 10~14日後 (収穫7日前まで)	ツマグロヨコバイ ウンカ類 イネネットムシ カメムシ類	トレボン粉剤DL		4kg
使用時期	病害虫名	基幹防除剤	臨機防除剤	使用量
出穂20日前	紋枯病 コブノメイガ ニカメイチュウ		ルーバンリンパー粒剤	3kg
出穂 10日前 (収穫35日前まで)	いもち病・紋枯病 穂枯れ(こま葉枯病) ツマグロヨコバイ ウンカ類・カメムシ類	イモチエース スタークル粒剤		3kg

品質向上のポイント

- 窒素(タンパク質)含有率を抑える
- こまめな水管理
- 適期刈り取り
- ていねいな乾燥・調整

倒伏防止対策

- ① 健苗の植付け、適正な植付密度、施肥管理、水管理により倒伏を防止、太茎にするともに、株間の通風と採光を良くする。
- ② 節間伸長期(出穂25日前以降)に窒素を効かせすぎないようにする。
- ③ 紋枯病の防除。
- ④ 中干し以降の飽水管理により根の活力を維持する。

斑点米対策

(カメムシ防除が斑点米の発生を防ぎます)

- ① 水田周辺(農道・畦畔・休耕田等)の雑草を出穂の2週間前までに刈り取って下さい。
- ② 畦畔からの飛込みによる被害が多いので、畦から3mくらいを重点的に防除して下さい。
- ③ 基幹防除は必ず行い、臨機防除については発生に応じて防除を行って下さい。
- ④ 多発時、穂ろい期~傾熟期に薬剤を散布します。散布適期は、出穂後10~14日頃が目安です。

施肥基準		キヌヒカリ (単位:10a当りkg)						ヒノヒカリ (単位:10a当りkg)						山田錦 (単位:10a当りkg)									
分肥体系	肥料名 (保証成分%N・P・K)	総量	元肥	追肥		穂肥	成分量 N P K	分肥体系	肥料名 (保証成分%N・P・K)	総量	元肥	追肥		穂肥	成分量 N P K	分肥体系	肥料名 (保証成分%N・P・K)	総量	元肥	追肥		穂肥	成分量 N P K
				中干し時	出穂20日前							中干し時	出穂20日前							中干し時	出穂20日前		
分肥体系	JA兵庫みらい化成 14-12-14	30	30				4.2 3.6 4.2	分肥体系	JA兵庫みらい化成 14-12-14	30	30				4.2 3.6 4.2	分肥体系	山田錦化成 12-14-16	15	15				1.8 2.1 2.4
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素		苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素		苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素
	ニュー かん太郎有機 12-6-12	25		25	3.0	1.5	3.0		ニュー かん太郎有機 12-6-12	30		30	3.6	1.8	3.6		穂肥有機 12-4-14	20		10	10	2.4	0.8
省力体系	ハイセラコートR024 20-12-14	35	35				7.0 4.2 4.9	省力体系	エムコート045 20-14-15	45	45				9.0 6.3 6.75	省力体系	ハイセラコートR004 20-10-14	20	20				4.0 2.0 2.8
	苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素		苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素		苦土一番 (総合ミネラル肥料)	20		20			苦土12% けい酸20%(含有) 微量元素

環境にやさしい農業をすすめています。